

## 平成 29 年 第 8 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 29 年 8 月 24 日（木） 午後 2 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者  
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦
- 5 開 会 午後 2 時
- 6 平成 29 年第 7 回教育委員会定例会会議録の承認について  
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。  
舟山委員、丹羽委員 署名。
- 7 平成 29 年第 8 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について  
舟山委員 | 古山委員、齋教育長を指名する。
- 8 教育長報告  
※なし
- 9 議事  
議案第 16 号 大河原町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価  
について  
(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)  
資料は別紙資料である。(詳細は資料参照)  
(質問)  
丹羽委員 | ボランティア育成と活用についてだが、評価が C となっている。ガールスカウト  
や婦人会の入会者減少とのこと、人材不足が懸念される。  
教育長 | 婦人会の活動も多岐に渡っており、学校でも遠足や給食、家庭課の授業のお手伝  
いと幅広く活動していただいている。  
丹羽委員 | 活動内容を見ると、活動内容はもっと評価を上げてよいのではないか。  
舟山委員 | (委員全員に諮って) 承認する。

## 10 その他

### (1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料である。

#### I 夏季休業中の活動

##### 1 宮城県中学校総合体育大会・東北大会

男子テニス大河原中学校 3年 個人3位 (東北大会出場)

女子テニス大河原中学校 団体優勝 (東北大会出場) ⇒東北大会団体3位

陸上 大河原中学校 3年男子 100m 5位

大河原中学校 3年女子 走り高跳び 5位

水泳 大河原中学校 男子 200m 自由形 3位、400m 自由形 (東北大会出場)

⇒東北大会6位

女子 50m 自由形 6位 (東北大会出場)

金ヶ瀬中学校 女子バタフライ 1位 (東北大会出場) ⇒東北大会17位

新体操 大河原中学校 個人男子 総合3位 (東北大会出場) ⇒東北大会総合9位

##### 2 吹奏楽コンクール地区大会

大河原中学校 銅賞 金ヶ瀬中学校 銀賞

##### 3 みやぎ小中学生いじめゼロCMコンクール

佳作 金ヶ瀬小学校 6年生

奨励賞 大河原南小学校

##### 4 おおがわら算数チャレンジ大会

7月25日(火) いきいきプラザ (25チーム 75人参加)

個人の部 15分、チームの部 45分 3人で協力して問題を解く

第1位 算チャレ三銃士チーム (大小6年)

第2位 ブレインズチーム (大小6年)

第3位 マンモス (大小6年)

県の大会 9月10日開催予定 健闘を祈る

##### 5 大河原数学オリンピック【初開催 県内でも初】

7月25日(火) いきいきプラザ (1・2年生 14チーム 42人参加)

第1位 過去の栄光チーム (大中2年 平成27年度算数チャレンジ優勝)

第2位 大中元気100%チーム (大中1年 平成28年度算数チャレンジ優勝)

第3位 カナダに行きたいチーム (大中2年)

##### 6 中学生未来会議 (町長期総合計画策定事業の一環)

平成29年7月26日(水) いきいきプラザ

大河原中学校 2年 16人、金ヶ瀬中学校 2年 8人参加 生き生きとした姿

##### 7 ケアハウス 夏休み学習会

10日間 延べ470名の参加

##### 8 世界・日本の大昆虫展

8月11日～13日 中央公民館 1,161点ポスターコンクール参加

## II 全国学力学習状況調査結果

- 小学校 国語算数とも確実に上昇。国語B、算数Aが特に優れている。
- 中学校 国語、数学とも全国平均を大幅に下回る。ただし国語Bは右肩上がり。

<質問紙から見えてくる成果と課題>

「ゲーム・携帯・スマホのより良い使い方プロジェクト」成果あり

家庭でのゲーム時間・・・小学校 県、全国を下回る。中学校 県を上回る。

将来の夢、規範意識、いじめに対する意識、自己肯定感、自分には良いところがあるか

・・・小学校 県、全国を大きく上回る。中学校 県、全国並み～それ以下。

規範意識の高さ・自己肯定感の高さが、「学力」を支えている

## III 不登校傾向

組織対応で子供を救い上げよう 9月は生徒指導の最重要月間

## IV その他

敬老会対策 各地区の敬老会 小学生「そうらん踊り」等を披露 好評  
暗唱も是非披露してほしい

(質 疑)

丹羽委員	中学生のレベルアップについてだが、授業の終わりの5分10分にみんなで教え合うというようなコミュニケーションの場を設けてあげれば効果があるのではないか。友達同士の学び合いの雰囲気づくりが学びの喜びを生み出すのではないか。生徒たちに任せる流れが大事ではないか。
教育長	いつも50分授業中、45分で終わらせて残り5分は復習でと言っているのだが、先生達はどうしても理解の遅い子に一生懸命教えてしまい、時間一杯まで授業をしているのが現状である。
丹羽委員	子ども達のつながりもできれば、とても良いと思う。
一盃森委員	先週弘済会で明治大学の齋藤孝先生の教育講演会があった。1,500人の聴衆相手に授業をして、あっという間の90分講演だった。最低限のことを教える授業で、なおかつ子供たちに考えさせる授業、両方やる授業が求められているのだと。教えなくてはいけないこと、知識・理解は教えて、何が分かったか2人組で教え合う、そのあとに4人で、しかも短時間で教え合う、そのような授業展開だった。「豊かな人間関係を育むコミュニケーション力」という講演だった。大中でも放課後の取り組みあたりで取り入れることはできるはずだ。アウトプットの大切さ。
古山委員	子供がアメリカにリーダーシップ研修を受けてきた。3週間の中で毎日ミラーリング(初対面の人と二人一組で、相手を客観的に見て、自分が気付いていない新しい自分を話してもらって、自分自身のことに気づく)という活動をしていたという。自己

肯定感の話が出たが、その研修では先生方も必ず肯定的に子供たちの意見を取り入れて、まず聞く、客観的に言ってもらおうといったことをしたそう。自分の子供が「自分が将来何をしたいのかわからない」と話すと、「今のことを一生懸命しているからだよ」と言われてすごく嬉しかったという。そういう経験をしてきて、一番誰に伝えたいかと尋ねると、「若い子、中学生などにとっても良いと思う」と言っていた。知らない相手とするものなので、例えば、大中と金中で道德の時間などで交流してやったらどうか。子ども達の自己肯定感の醸成と、学力向上にも反映していくのではないかな。

一盃森委員 話し合いだと授業で見ているが、ダラダラと結論のない授業をやっているときがある。短時間の話し合いでいろんな意見を出し合って、結論を導き出す作業は、新しいものを作り出す力になる。

丹羽委員 学力を伸ばすには、教え合いで、分からない子も分かるようになると友達に認めてもらう雰囲気もできてとても良いのではないかな。子ども達に任せる工夫が必要だ。

教育長 未来会議での子供たちはとても生き生きとしていた。今後の授業指導に皆さんの意見を生かしていきたい。

## (2) 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

9月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

### 1 1 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員 | 次回の定例会は、平成29年9月26日(火)午後2時から開会する。

### 1 2 閉会宣言 午後3時01分

平成29年9月26日

署名委員

署名委員